

第3学年 国語科学習指導案

単元名 とんち話を楽しもう 教材名 「三年とうげ」

1 単元目標

- 楽しみながら民話や物語などのとんち話を読み、興味をもって学習に取り組もうとしている。【関】
- 登場人物の気持ちの変化や情景などについて、叙述を基に想像して読むことができるようになる。【読】
- 感想や意見を伝えるために、適切な言葉を使うことが大切だと気付いている。【言】

2 指導と評価の計画

時間	○ねらい・学習活動	評価の観点			学習活動における具体的評価規準 ()は評価方法	
		関	読	言		
二 次 1 2	色々なとんち話を楽しみ、おすすめとんちブックを作る。	○三年とうげを読んだ感想を交流するとともに、学習課題を設定する。 ・三年とうげを読んで、挿絵をもとにあらすじを確認し、感想を書く。	○			・三年とうげの感想を書こうとしている。 (観察・ワークシート)
		・感想を話し合い、各場面の学習課題をつかむ。		○		・感想を伝えるために、適切な言葉を使うことが大切だと気付いている。 (発言・ワークシート)
二 次 3	色々なとんち話を楽しみ、おすすめとんちブックを作る。	○各場面での情景、登場人物の性格や気持ちの変化を読み取る。 ・「はじめ」の場面を読み取る。		○		・「はじめ」の場面の三年とうげの様子について読み取っている。 (発言・観察・ワークシート)
4		・「出来事が起こる」場面を読み取る。		○		・「出来事が起こる」場面のおじいさんの気持ちを読み取っている。 (発言・観察・ワークシート)
5		・「出来事が変化する」場面を読み取る。		○		・「出来事が変化する」場面のトルトリの素晴らしいところやおじいさんの気持ちを読み取っている。 (発言・観察・ワークシート)
6		・「むすび」の場面を読み取る。		○		・「むすび」の場面のおじいさんの気持ちを読み取っている。 (発言・観察・ワークシート)

(三次) 7 8 9	色々なとんち話を楽しみ、おすすめとんちブックを作る。	○いろいろなとんち話を読み、感想や登場人物のすばらしいところを交流する。			
		・いろいろなとんち話を読み、自分の気に入った作品を選ぶ。	○		・いろいろなとんち話の中から、自分の気に入った作品を選んでい る。(発言・観察・ワークシート)
		・選んだとんち話について、感想や登場人物のすばらしいところを書き、読み合う。	○		・選んだとんち話について、登場人物のすばらしいところを読み取っている。 (発言・観察・ワークシート)
		・選んだとんち話について、感想や登場人物のすばらしいところを書き、読み合う。	○		・クラスの仲間のとんちカードを読んだり、感想を書いたりしている。 (発言・観察・ワークシート)

3 単元設定の理由

○ 本題材「三年とうげ」は、朝鮮半島の民話である。はじめ・出来事が起こる・出来事が変化する・むすびの4部構成で成り立っていて、しかも短くとらえやすい。また、「三年とうげで転んだならば、三年きりしか生きられぬ。」という昔からの言い伝えを信じ、病気になってしまうおじいさん。心配するばかりのまわりの村人とは違い、機転を利かしておじいさんを病気から救ったトルトリという2人の性格もはっきりと書かれているので、登場人物の気持ちの変化を読みとることに適している。さらに、「はじめ」の場面には、美しい情景を表す言葉が対句的に配置されていたり、言い伝えが調子やリズムのよいものだったり、児童にとって楽しみながら読み進めることができる作品でもある。

なお、トルトリのとんちは、他の登場人物や読み手とは発想が違うのでその発想に子どもたちは驚き、興味をもつことと考えられる。そこで、単元を通した言語活動を「色々なとんち話を楽しみ、おすすめとんちブックを作る。」とした。三年とうげを楽しみながら読んだ後、色々な民話や昔話などのとんち話を読み、登場人物のすごいところをとんちカードに書いてクラスの仲間に伝える活動を行いたい。また、「みんなのカードを本にして、学校図書館に置かせてもらおう。」と伝えておくことで、さらに児童の意欲を引き出したい。

○

児童の実態については、省略しています。

○ 指導にあたっては、第一次では、三年とうげを読んだ感想を交流するとともに、学習課題を設定する。第1時には、児童が初発の感想を、「〇〇って、□□だなあ。」という形式で思いっだけ挙げていく。「おじいさんは、信じやすい。」「おじいさんは、こわがりだ。」「三年とうげは、きれいだ。」「三年とうげは、こわい。」など児童は感じたことを意欲的に書いていくことと考えている。そして、第2時には感想を話し合う。児童の発表が「はじめ」「出来事が起こる」「出来事が変化する」「むすび」のどの場面のことかを板書をもとに位置づけ、それぞれの場面で多く出た感想を集約することで、第2次の学習課題をつかませたい。何を学習するかを明確にすることで、さらなる意欲づけを図りたい。なお、単元を通じた言語活動について、児童は感想の中で「トルトリってかしこい。」という気持ちをもつことと考えられる。その意見について採り上げ、「実は、第三次にはいろいろなとんち話を読むよ。」「わかったことをまとめて、とんち話の本にするよ。」と伝えておくことで、単元の最後まで意欲をもち続けることができるようにしたい。

第二次では各場面での情景、登場人物の性格や気持ちの変化を読み取る。特に、以下の2点については、二次を通して行う支援とする。

①児童の意欲的な学習参加をねらい、本時のめあてを「〇〇は、どのくらい□□でしょう。」の形にする。第3時であれば、「三年とうげはどのくらいきれいでしょ。どのくらいこわいでしょ。」というめあてにする。児童は、「とても・まあまあ・少し」からその度合いを選んだり、自分で「歩けないくらいこわい。」などと記述したりする。そして、それがわかる叙述にサイドラインを引き、「〇〇と書いてあるからです。」などと発表することは、ただ「こわいところを見つけよう。」というめあてよりも主体的な気持ちで学習に取り組むのではないかと考えている。

②各場面について、ワークシートを工夫する。まず、各場面の本文を掲載することで、サイドラインや書き込みを自由に行い、自分の意見をもちやすくすることをねらっている。各時間のまとめ時にはおじいさんの気持ちについて考える。ワークシートにおじいさんの表情を絵で表すことで、すぐに文章化できない児童への支援としたい。また、最後まで意欲をもち続けることができるようにしたい。

第三次では色々なとんち話を読み、感想や主人公の素晴らしいところを交流する。三年とうげと同様、色々なとんち話ははじめ・出来事が起こる・出来事が変化する・むすびの4部構成で成り立っていることが多い。そして主人公が機転を利かせたとんちを發揮し、解決につながるのが「出来事が変化する」の場面である。色々なとんち話を読む中で、「出来事が変化する」場面がどこで出てくるかにも目を向けさせたい。さらに、その主人公が他の登場人物とどう違うのか、どんなとんちを使ったのかを表したおすすめとんちカードをもとに、そのカードを読み合ったり、紹介された物語を読んで感想を書いたりする活動を通じ、いろいろなとんち話を味わうことができるようにしたい。

以上のように、本単元では指導事項〔読むこと〕のウをうけて、「いろいろなとんち話を楽しみ、おすすめとんちブックを作る。」という言語活動を通して、本校の研究の主題「主体的に読み、目的に応じて自分の言葉で豊かに表現する子どもの育成」に迫りたい。

本時案(第5時)

本時の目標	「出来事が変化する」場面の、トルトリのすばらしいところやおじいさんの気持ちを読み取ることができる。
準備物	全文掲示, 挿絵, ワークシート
子どもの活動の流れ	教師の支援と評価
1 本時のめあてをつかむ。	<p>○前時の学習を振り返り, おじいさんがどのくらいこわかったかを確認し, 本時はおじいさんがどうなっていくかと問いかけることで, 意欲をもって学習に臨むことができるようにする。</p> <p>○本時に学習する場面を一斉に音読することで, 児童が自信をもって本時の読み取りをできるようにする。</p>
トルトリはどのくらいすばらしいでしょう。	
2 「出来事が変化する」場面を読み, トルトリのすばらしさとおじいさんの気持ちを読み取る。	<p>○おじいさんを病気から救ったトルトリに着目し, 「どのくらいすばらしいか。」について考えることで, それぞれの児童が根拠のある意見を持つことができるようにする。</p> <p>◆「どのくらいすばらしいか」の度合いを選ぶことができるワークシートにすることで, 自分なりに答えようという意欲と, 学習に参加しているという実感を持つことができるようにする。</p> <p>○全文掲示を用意し, 児童が発表したことをすぐに書き込んでいくことで, 発表を位置づけたり, まとめたりすることができるようにする。</p> <p>○「きつとなおるよ。」「なおるとも。」「ううんと長生きできるはずだよ。」などの表現を手がかりに考えることで, トルトリのすばらしさを感じるができるようにする。</p> <p>○他の人とトルトリとの対応の違いを比較したり, トルトリになりきってせりふを音読したりすることで, トルトリのすばらしさについてさらに実感することができるようにする。</p> <p>◎トルトリの働きかけにより, おじいさんの気持ちがどう変わったか考えることで, おじいさんの気持ちの変化について考えることができるようにする。</p> <p>「出来事が変化する」場面のトルトリのすばらしいところやおじいさんの気持ちを読み取っている。(発言・観察・ワークシート)</p>
3 本時のまとめをする。	○本場面のトルトリのすばらしさとおじいさんの気持ちを, 表情の絵と記述でワークシートに表し, 発表することで, 本時のまとめとする。
4 次時の学習を知る。	○次時は物語の最後の場面であると伝え, おじいさんの気持ちを確かめようと声をかけることで, 意欲を持ち続けて学習ができるようにする。

本時案(第8時)

本時の目標	選んだとんち話について、登場人物のすばらしいところを読み取ることができる。
準備物	とんち話の本, ワークシート, 掲示物(活動の流れ, とんちカード)
子どもの活動の流れ	教師の支援と評価
1 本時のめあてをつかむ。	○本時は、おすすめとんちカードを作成し、読み合うという目標を示すことで、意欲をもって活動することができるようにする。
おすすめとんちカードを作ろう。	
2 おすすめとんちカードを作る。 ・カードを書く ・カードを読み合い、感想を書く	○活動の流れを提示することで、児童がスムーズに活動に取り組めるようにする。 ○3年とうげの物語を基に作成したおすすめとんちカードを提示することで、児童がおすすめとんちカードの作り方を確認できるようにする。 ◎会話に着目することで、登場人物のすばらしい所を読み取ることができるようにする。 ○機転を利かせる登場人物と、それ以外の登場人物の考え方をワークシートに書くことで、それぞれの考え方の違いに気付くことができるようにする。 ◆とんちの部分を見つけることが難しい児童は、教師と一緒に登場人物の考えを探し、書き込むことができるようにする。 ○自分の紹介したい物語を手元に置き、挿絵や本文を見ながら活動をすることで、読んだ内容を想起することができるようにする。 ○登場人物のすばらしいところをワークシートに書くことができている児童を称揚することで、他の児童の参考になるようにする。 ○早くできた児童には、他の物語のおすすめとんちカードを書くように伝える。 ○友達が書いたとんちカードを読み合うことで、紹介された物語に興味をもつことができるようにする。 ○感想を書く観点を提示することで、友達のとんちカードを読んだ感想を書くことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> 選んだとんち話について、登場人物のすばらしいところを読み取っている。 (観察・ワークシート) </div>
3 本時のまとめをする。	○ワークシートに書いた感想を発表することで、本時のまとめとする。
4 次時の学習を知る。	○次時も、おすすめとんちカードを作ったり、友達の書いたカードを読んだりすることを知らせ、意欲をもって活動に参加することができるようにする。